

記載例

平成20年度生物多様性体験学習推進事業補助金応募書

平成20年6月2日

千葉県知事 堂本暁子 様

(団体の所在地) 千葉市〇〇区△△町2-4

(団体名) □□小学校ビオトープ整備実行委員会準備会

(代表者職・氏名) 校長 ▲▲ ■■ 印

実行委員会
(準備会)
の場合は、
校長先生の
私印で可。

平成20年度生物多様性体験学習推進事業補助金の交付を希望するので、関係書類を添えて提出します。

記

1 補助金希望額

希望額 800,000 円

2 添付書類 (それぞれ正副2部)

- (1) 事業の概要 (別紙1)
- (2) 収支予算書 (別紙2)

連絡先

担当者名 ▲▲
電話番号 043-〇〇〇-■■■■

別紙 1

事業の概要

1. 事業名	□□小学校ビオトープ整備（整備・改修）
2. 事業費	1,200,000円（このうち県の支出 800,000円）
3. 事業期間	平成20年 7月15日～ 20年 10月31日
4. 事業場所	事業場所：千葉市〇〇区△△町2-4 ビオトープ面積：約400㎡ （図面、写真を添付してください。また、事業を実施する場所が 民有地の場合は、使用貸借契約書、覚書等を添付してください。）
5. 現況、これまでの取り組み （改修の場合のみ）	1998年8月 教職員、父兄、児童で湿地環境を再現したビオトープを造成。付近の開発予定地で捕獲したメダカ、ドジョウ等の水生生物を放流。 以後、年1～2回、総合学習の時間を利用して観察会を実施 2001年4月 ビオトープクラブ発足 毎月、動植物の状況を調査 2002年3月 卒業記念で、木道を整備 2005年3月 ポンプ故障のため交換 2007年8月 歩道が傷んできたため補修（PTA）
6. 整備・改修及びその活用の目的	この地域は、以前は低湿地が広がっていたことから、低湿地の動植物を復元し、地域や自然を知るといった学習に生かすとともに、児童が自然にふれあう機会を創出し、やさしい子が育つことを期待してビオトープを整備した。 今回は、古くなってきた機器類や歩道の改修とあわせて丸太橋、新たな歩道を整備することにより、児童が湿地環境により近くでふれあうことができるようにしていきたい。 また、ソーラーシステムでポンプを稼働させることにより、地球温暖化への理解も深めていきたい。

<p>7. 整備・改修の内容 (図面、イラストなどを添付)</p>	<p>ポンプ、バッテリーの更新。 ソーラーパネルの設置。 歩道、丸太橋の整備。</p>
<p>8. 整備・改修後の活用の方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・総合学習の授業で、観察会を開催。 ・学校開放日に地域への観察会の開催。 観察会の開催のため、顕微鏡、凶鑑、草刈機を購入。 また、観察会資料を作成。 各観察会に講師を招く。 ・学校ビオトープ交流会 近隣の学校と、お互いにビオトープの見学を行い、その後、意見交換を行う。 交流会資料を作成。
<p>9. 整備・改修及びその活用の予定スケジュール</p>	<p>7月 ポンプ、バッテリーの更新、ソーラーパネルの設置。 7月～8月 川の支線（ゆっくり流れる川）の創設。 歩道、丸太橋の整備。（教職員、PTA、NPOで施工） 9月、10月、11月 総合学習の授業で、観察会を開催。（3回） 10月 学校開放日に地域への観察会の開催。（1回） 11月 学校ビオトープ交流会。（1回）</p>

<p>10. 整備・改修後の維持・管理の方法</p>	<p>学校のビオトープクラブが日常の維持管理を行う。 総合教育の授業で、清掃等を行う。 自治会が年3回程度、草刈、草取りを実施。 月1回程度、めだかの会が清掃等を行う。</p>
<p>11. 期待される効果</p>	<p>■ ビオトープに生息・生育させたい動植物 メダカ、ドジョウ。セリ、タネツケバナなど湿地の植物 外来種は入れないようにする。</p> <p>■ 児童・生徒への効果 太陽エネルギーで水循環させた川で、昔から地域に生息するメダカ、ドジョウ、生育する湿地の植物などを観察することにより、自然の仕組みや湿地の環境、地球温暖化の防止についての理解を深める。 生き物に触れることにより、やさしい子が育つ。 他の学校との交流により、はば広い視野の児童に育つ。</p> <p>■ 地域への効果 地域を対象にした観察会により、地域の人々が自然に触れる機会を提供する。</p> <p>■ その他、期待される効果 地域を対象にした観察会で、地域の人々に学校に来てもらうことにより、学校への理解を促進する。</p>
<p>12. 実行委員会の構成 (今後実行委員会を設置する場合は、現時点で想定している実行委員会の構成)</p>	<p>校長 生物教諭 PTA会長 生徒会(数名) ビオトープクラブ員(数名) めだかの会理事長 自治会長</p>

別紙 2

収支予算書

<収入>

費目	内訳	金額
		円
県補助金		800,000
上記以外の収入 (学校負担金、PTA 負担金、他からの助成金等内訳を記載)	学校負担金 PTA 負担金 NPO (めだかの会) 負担金	100,000 100,000 200,000
収入合計	(支出合計と同額)	1,200,000

<支出>

費目	内訳 (名称、単価、個数等を記載)	金額
		円
材料費、工事費	ポンプ、バッテリー、ソーラーパネル	520,000
材料費	丸太橋、歩道	300,000
観察会経費	図鑑 (20,000×5冊)	100,000
観察会経費	草刈機 (50,000×1台)	50,000
観察会経費	実体顕微鏡 (40,000×3台)	120,000
観察会経費	講師謝金 (20,000×4回)	80,000
観察会経費	講師旅費 (2,500×4回)	10,000
観察会経費	観察会資料印刷費 (50円×400枚)	20,000
支出合計	(収入合計と同額)	1,200,000